

令和5年度 課の運営方針書

地域振興部 観光交流課

1 課の運営方針

【課の使命】

第3期周南市観光ビジョン(R2年3月策定)で掲げた2つの基本方針(観光コンテンツ等の充実、観光誘客の推進)を基に、観光振興をより効果的・戦略的に推進するため、3つの重点推進施策(日常をときほぐす観光の展開、まちなか観光の展開、夜型観光の展開)及び6つの基本施策(特色ある観光地づくり、効果的な情報発信、受入体制の充実、集客力につながる連携の強化、コンベンション誘致の推進、国際観光の推進)を計画的・総合的に展開するとともに、官民が連携し、地域資源を有効に活用することで、交流人口の拡大を図り、地域の活性化や経済循環を高め、本市の賑わいの創出と発展につなげます。

【課の目標】

- ①地域資源を活用した観光の推進 ~ 第3期観光ビジョンに掲げた3つの重点推進施策「日常をときほぐす観光」「まちなか観光の展開」「夜型観光の展開」に官民連携して取り組み、地域資源を有効に活用した観光を推進します。
- ②コンベンション誘致の推進 ~ 各種大会や企業・学会等の会議、研修会などのコンベンション誘致に取り組み、交流人口の拡大を図ります。
- ③国際交流の推進 ~ 姉妹都市との青少年友好親善訪問団の派遣・受入や国際交流サロンの開催等を通じて、国際化社会に対応できる人材の育成や、多文化共生社会の推進に取り組みます。
- ④湯野地域観光振興拠点整備補助 ~ 旧国民宿舎湯野荘の譲渡先である地域法人が実施する観光施設整備事業を支援することで、湯野温泉郷全体の観光振興と地域の活性化を図ります。
- ⑤日常をときほぐす観光の推進 ~ 中山間地域を中心にエリア拡大を進めながらワーケーション事業にも取り組むとともに、鹿野観光交流拠点の検討を進める。

【行財政改革への取組み】

観光施設について計画的な改修を行うとともに、老朽化が著しいものは施設分類別計画に則って廃止とするなど維持管理費用の節減や平準化に努めます。

2 担当(係)の使命(果たす役割)

(観光振興担当)

地域資源の掘り起こしや磨き上げを進め、観光コンテンツとして有効活用するとともに、観光客の受入体制の整備や戦略的・積極的な情報発信等に取り組み、観光客の増加を図ることで地域の活性化につなげます。

(コンベンション・国際交流担当)

コンベンションの誘致・開催や国際観光の推進を通じて、交流人口の増加を図り、地域経済の活性化等につなげるとともに、姉妹都市交流や市内における多文化共生を推進することにより、多文化共生の推進と国際化社会に対応できる人材の育成に取り組みます。

3 課の経営資源

(1) 課の体制

職員数	9人	うち	正職員	9人	・	会計年度 任用職員	0人	人件費	正職員	63,927千円	会計年度 任用職員	千円
-----	----	----	-----	----	---	--------------	----	-----	-----	----------	--------------	----

※R3職員平均給与(7,103千円)ベース

※予算計上額

(2) 事業規模

歳入予算額	216,549千円	歳出予算額	286,625千円	(正職員人件費を除く)	担当予算事業数	9事業
-------	-----------	-------	-----------	-------------	---------	-----

4 課の中期目標（優先順）第2次周南市まちづくり総合計画・後期基本計画に掲げられた基本施策を実現するための推進施策

目標	推進施策	実現したい成果（最終目標）
1	6 産業・観光 5 観光交流の推進 1 ニューツーリズムの推進	魅力ある観光地づくり等に取り組み、市内外からの観光客の増加により、地域の活性化を図ります。 (令和6年目標値：観光客動態調査に基づく年間観光客数 180万人)
2	6 産業・観光 5 観光交流の推進 2 観光客の受入環境の充実	コンベンションの誘致・開催により、交流人口の増加を通じて、地域経済の活性化等を図ります。 (令和6年目標値：観光客動態調査に基づく年間観光客数 180万人)
3	2 生涯学習・人権 2 文化・芸術の振興 4 国際交流・多文化共生の推進	市民の異文化理解や多文化共生の推進、国際化社会に対応できる人材の育成を図ります。 (令和6年度目標値：国際交流事業参加者数 1,200人)